



到達目標	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指導を受けながら、看護技術を安全、確実に実施できる 2. 所属部署のメンバーとしての役割が理解できる 3. 医療安全管理の内容を知り、指導のもとに行動できる 4. 病院・看護部理念が理解できる 5. 社会人としての基本的態度を身につける 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護技術を安全、確実に自立して実施できる 2. 所属部署では担当看護師としてメンバーとしての役割と責任を果たす 3. 先輩・看護学生に対して、フォローを受けながら指導に関与することができる 4. 医療安全管理マニュアルに基づいて行動できる 5. 病院・看護部の組織の一員として責任ある行動が取れる 6. 看護職としての倫理的態度を身につける 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程を踏まえた個別的ケアが実践できる 2. 先輩・看護学生に対して、積極的に指導に関与することができる 3. 医療安全管理マニュアルに基づいて自立して行動することができる 4. 組織の中で自分やメンバーの立場役割を理解し相互援助することができる 5. 自分の目指す看護について言語化・明文化できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. チーム内で状況を的確に判断し、リーダーシップを発揮することができる 2. 先輩・看護学生に対して、積極的に指導に関与することができる 3. 医療安全管理マニュアルに基づいて実施し、指導することができる 4. 所属部署内・看護部チームにおいて目標達成のために積極的に活動できる 5. リーダーとしてメンバーの人間関係を調整できる 6. 自分の目指す看護観を深めることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経験を積んだ看護師として創造的な看護実践を展開し、役割モデルとなる事ができる 2. 患者ニーズとスタッフの能力を考慮し、業務管理ができる 3. 看護実践の質の向上のために、指導に主体的に取り組むことができる 4. キャリア開発プログラムにおいて人的資源となることができる 5. 他の医療チームとの良好な人間関係を保ち、支援や理解ができる 6. 自分の目指す看護観を確立できる
院内教育プログラム	研修Ⅰ ・基礎看護技術 ・集合オリエンテーションⅠ、Ⅱ ・メンタルフォローアップ ・フィジカルアセスメント ・看護過程について ・救急蘇生法 ・多重課題シミュレーション ・症例発表	研修Ⅱ ・看護倫理 ・アサーティブコミュニケーション ・ポートフォリオ発表	研修Ⅲ ・リーダーシップ研修 ・看護を語る会(看護観) 研修Ⅳ ・指導者研修：学生指導、先輩指導 ・ポートフォリオ発表	・専門領域研修 実地指導者研修	
院外教育	総合教育研修会(講演会、看護研究発表会など)、認定看護師による研修会、BLS研修 熊本県看護協会研修、認定看護師教育、各種看護学会・看護セミナーなど				
教育理念	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職業人としての意識を持ち「安全を第1に考えた行動が取れる人」「患者の視点で看護が出来る人」「アサーティブな対応が出来る人」を育てていく 2. 人は絶えず成長していくものであり、1人1人の能力を最大限に発揮できるような教育をしていく 				
看護部理念	・誠実に“心ある看護”と“科学的根拠のある看護”を提供します ・“地域医療支援病院”として、各医療機関と連携し地域医療に貢献します				